

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE 総合評価 2016年版、4.0版改訂版（環境省省令で公表） ■使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	市営東芳野荘(仮称)	階数	地上10F
建設地	名古屋市東区芳野二丁目708番、名古屋市区芳野二丁目701番	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	204 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年3月 予定	評価の実施日	2026年1月27日
敷地面積	4,890 m ²	作成者	
建築面積	978 m ²	確認日	2026年1月27日
延床面積	5,859 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 75%
③上記+②以外のオンサイト手法 75%
④上記+オフサイト手法 75%

92 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9

音環境	3.0
温熱環境	3.3
光・視環境	2.3
空気質環境	3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8

機能性	2.5
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 4.1

生物環境	3.0
まちなみ・景観	5.0
地域性・アメニティ	4.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	3.3
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

地球温暖化への配慮	4.0
地域環境への配慮	2.6
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 既存住棟の建替え事業である本計画は、隣接する民間分譲マンションとの一体性確保に務めるとともに、敷地内平面駐車場、コミュニティベンチを設けた広場を広く確保し、地域のコミュニティを促進します。		その他
Q1 室内環境 ・室内化学物質調査では規定値をクリアされている。 ・F★★★★以上を前端的に使用し、室内化学物質調査をしている。	Q2 サービス性能 ・建築基準法上の耐震性をクリアしている。 ・住宅性能表示基準劣化対策等級3をクリアしている。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地内緑地を条例基準以上確保している。 ・地域を考慮した外観デザインを採用している。
LR1 エネルギー ・住宅性能表示基準断熱等性能等級5をクリアしている。 ・住宅性能表示基準一次エネルギー消費量等級6をクリアしている。 ・南側バルコニーとしている。	LR2 資源・マテリアル ・大便器を節水型ロータンクとしている。 ・基礎部分に高炉セメントを使用している。 ・有害物質を含まない材料を使用している。	LR3 敷地外環境 ・分別可能な特定ゴミ置き場を設置している。 ・適切な量の自転車駐車場、駐車スペースを設けている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

市営東芳野荘(仮称)

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				4.2
LR1	エネルギー	4.4	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.0	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.2
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 4.2
2. 自然共生	評価点 = 2.9
3. 循環型社会	評価点 = 3.2

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み})\text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2)地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4)地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。